時事新報

歐洲航路の開始

日本郵船會社にては海外航路擴張の第一着手として歐洲線を開き先づ汽船六隻を以て毎月雙方發着の定期航海を爲すの方針に決し船隻の注文並に實地の取調として社員を歐洲に派遣せしめたり而して右新船の落成は凡そ一年間を要す可しと雖も目下臺灣及び遼東半嶋に於ける兵員輸送の用を終り社務の閑を告るに至れば來る二三月の頃より在來の船舶にて試に開始する見込なるやに聞けり航路擴張の一事は一般に必要を唱ふる所にして政府議會の邊に於ても國費を以て保護の計畫なきに非ざりしかども種々の事情の爲めに未だ實行の運びに至らざりしに偶然にも日清戰爭の結果として郵船會社は御用船の爲めに臨時の利益を得たるを以て其利益を國家の公益に投じ今回の計畫を見たる次第にして近來の快事と云はざるを得ず近年國力の發達と共に外國の商賣貿易は次第に繁昌の一方にして航路擴張の必要は何人も認むる所なり會社の計畫は此必要に應ずるが爲めにして實際にますます貿易の發達を促すの結果は疑ふ可らずと雖も我輩の所見を以てすれば航路擴張の結果は單に貿易發達の一事に止まらず國中一般の人心を刺擊して從來の偏屈心を脫し大に快活ならしむるの効能必ず著しきものある可し抑も我國の人心は近來漸く活動して外に向はんとする折柄、恰も好し過般の戰勝は一層、その心を動して日本は東洋の日本に非ずして世界の日本なりとの考を起し海外進取の精神を發揮したるは疑ある可らず大に喜ぶ可き所なれども扨その進取の精神を實にするに當りて困却なるは海外の交通不便の一事なり或は現在とても世界の海上到る所に外國船の往來極めて頻繁なり海外の交通差支なきに似たれども凡そ旅行は不便窮屈を免れざるの常ながら其不便窮屈の中にも自から愉快を欲するは一般の人情にして自國の船を外國の船と相對して人情いづれを欲するや一考を要せずして自から明白なる可し外國船に乘れば言語飲食等各種の習慣自から異にして萬事不便窮屈なるに反し自國船なれば飲食起臥勝手次第食堂に出づるも日本流の儀式、特に面倒を覺えずして自然に整理し相客に對して氣兼するの苦勞もなく甚だ氣樂にして海上幾十日の航路も殆んど內地の家居に異ならず從來海外の旅行を思ひ立つものは少なからず彼岸に到着すれば知人朋友もあり諸種の便利も乏しからざれども何分にも途中の不便窮屈の爲めに躊躇したる次第なれども今、自國の船にて往復自在とあれば恰も四海一家の思を爲して外行を企つるもの必ず多きに至らざるを得ず人心を奬勵して海外進取の勇氣を發揮せしむるの結果は我輩の疑はざる所なり然り而して會社の前途を顧みるに歐洲の航路は從來外國の會社にて定期航海に從事するもの一二に止まらず何れも多年間の經驗を閲して資力も乏しからず日本の國力は近來の發達異常なるにも拘はらず航海業の如き尙ほ幼稚にして先進國と肩を比す可きに非ざれば他に對して競爭などは素より及び難き所にして　幸に先輩の末班に列して未來の事業を繼續するみとを得ば自から足れりとするものなれども竟に何に世界の表面に事を發表して日本の國旗を歐洲の航路に翻へしたる上は決して一會社の私事として見る可きに非ず會社の事を企てたるは自から期する所あらんなれども國家人民は之を傍觀せずして其事を助け國の面目利益の爲めに終りを全うせしめんみと我輩の切望に堪へざる所なり

雜報

○金鵄勳章（十一月二十五日敍勲）

勳功七級授金鵄勳章（年金百圓付）

陸軍砲兵一等軍曹　都渡松市
陸軍砲兵一等軍曹　篠原森藏
陸軍砲兵一等軍曹　龜井藤助
陸軍砲兵二等軍曹　宮北勇太郎
陸軍砲兵上等兵　荒船潤十郎
陸軍砲兵一等卒　平井由太郎
陸軍砲兵一等卒　磯野昇太郎
陸軍砲兵上等兵　小野口熊次郎
陸軍砲兵上等兵　渡邊銀次郎
陸軍工兵一等軍曹　富樫勘次郎

○朝鮮に對する日本の意向（米國新聞の記事）

桑港クロニクルの報ずる所に據れば米國駐剳の日本公使は去月三十一日本國政府より來りたる左の電報を米國々務卿オルチー氏に傳へたり

日本軍隊の朝鮮に駐屯するは彼國の安寧を保ち又公使館、領事館及び同國に居留する日本臣民を保護すると同時に遼東半嶋を占領し居る軍隊と連絡を通ずる爲めにして殊に守備隊の多數は連絡に備ふるものなれば遼東半嶋より撤兵すると共に之を派遣し置くの必要も自から止む可きを以て召還す可し

又日本政府の眞意は朝鮮政府の旣に企てたる改革を首尾能く成就し假令ひ守備隊を撤回するも自から國內の秩序を維持し外國人を保護するを得るの域に至らんみとを切望するものにして此外に何等の所望もなければ隨て彼國に長く軍隊を駐屯せしむるを希はざるのみならず若し斯の如く責任を免るゝを得んか誠に慶賀する所にして之を要するに日本政府は朝鮮に對し敢て干涉を好むものに非ざるが故に喜んで他の諸强國と相提携して事を共にす可しと

尙ほ日本政府は歐洲の諸公使館へも右と同樣なる意を申送りしが如しと記しありたり

○馬關築港の計畫

出船千艘入船千艘と謠はれし馬關も近年門司港の開設以來少しく其繁榮を奪はれし感あり然れども門司も馬關と同じく大船巨舶の風波を凌ぐに適當の良港と云ふを得ず日清交戰の際の如きも御用船の繫泊せるもの如何に困難を極めしかは世人の能く知る所なり是を以て數年前より馬關改築の必要を說くもの多かりしも誰一人として之が發起者となり進んで此大事業に着手するものなかりしが三年前此事端なくも井上伯の耳に入り轉じて岩崎彌之助、三井八郎右衞門、澁澤榮一、益田孝等の人々に傳はり此人々等より更に馬關の有力者に協議せし處同じ市中にても築港の場所東部なりとて西部の人々は自家の利害上反對を試むるものありしが同地の有力家豐永長吉氏此間に立ちて大に周旋し岩崎氏等は馬關人士にして此擧に不同意とならば已むを得ず自分等同志者に於て着手する筈なりと語り出でたれば斯くては馬關の不利益不面目と悟りやしけん遂に豐永氏の意見に一任するみとゝなれり故に今日にては此人々等發起者となり居れり而して其設計はパルトン氏外二外人の手に成りたるものにして三氏とも多少意見の相違あるも大體に於ては馬關の西部に位する彥嶋より馬關竹崎町又は觀音崎町に渉る海面を埋め立てゝ双方の間を接續するものにして其形は兩側弓形に灣曲し宛然分銅の形をなし舟嶋の如きは埋立の中に包み込みて面積四十萬坪を得る都合なり故に一朝此築港にして成就せば馬關の面積を一倍し今日まで土地の狹隘に苦みたる馬關は假に擴大して一大要港の面目を全うするに至らん又馬關と彥嶋との間に在る小門の瀨戶（馬關名所の一）は船舶の通行上便利ならざりしを以て依然存し置くみとゝし新埋立地の中央部を橫斷して一大堀割となし其幅を十間乃至十二三間にして船舶の通航に便するみとゝなし之に架するに壯麗なる橋を以てし以て其壯觀を添ふる筈なり扨築港成就の日に於て土地の代價は如何といふに一坪十圓とすれば四十萬坪にて四百萬圓を得る都合にて之より上るみとあるも下るみとはなかるべし而して其工費は設計者の豫算にて百四十萬圓なりと云へば差引二百六十萬圓を利するなり此豫算にて株式會社を組織し工事に着手する計畫漸く熟し市會議員、商業會議所會員等數十名馬關繁榮策大會なる名義を以て先頃商業會議所樓上に會合し大浦山口縣知事よりも松尾市會議長の手を經て二十餘箇條の意見を示し熟議の末いよいよ着手するみとに決したれば猶ほ有志者の會合五六回を經て確定するに至るべしと云ふ又大浦知事は曩に本紙の電報にもありたる如く去る七日此件に付態々山口より同地に出張し翌八日商業會議所樓上に於て右の人々に對し馬關繁榮策に關する一場の演說を試みる筈なりしを以て同地有力者の決心は益々鞏固となるべし、築港後繫泊し得らるべき船舶の數は普通の小汽船和船の如きは出入數千に及ぶも差支なく御用船の如きも百隻以上碇泊し得るに至らしむる目的なりと馬關よりの近信

○獨逸の東洋航海業

獨逸政府は保護金を下附して東洋、濠洲の二航路に助成金を下付して之を奬勵したりしが此頃公にしたる報告なりと云ふに由て其形況を見るに昨千八百九十四年に於て此二航路を往復せし船舶の運輸貨物總額は十二萬千九百二十二噸（此價一億五千百五十九萬四千マーク）にして千八百九十三年には八萬八千七百四十八噸（みの價一億八百四十一萬四千マーク）又千八百八十八年には五萬八千四百七十七噸（みの價七千四百五十四萬七千マーク）なりと云ふ以てその進步の著しきを知るに足る可し尙ほ昨年の總額の內にて東洋と濠洲へ輸送せる高は六萬二千百四噸（此價格六千百五十萬六千マーク）なるに一昨年は四萬九百六十四噸（みの價格四千三百五十九萬三千マーク）なり又歐洲へ向け運送せる高即ち歸り荷は五萬九千八百二十一噸（みの價格九千八萬八千マーク）に比し一昨年は四萬七千七百八十四噸（みの價格六千四百八十二萬千マーク）なりし

更に東洋線と濠洲線とに付き細別すれば昨年東洋（甲）へは七萬千七百二十噸此の價格一億千二百八十二萬二千マーク、濠洲（乙）へは五萬二百二噸此價格三千八百七十七萬二千マークにして一昨年は甲へ四萬七千八百五十五噸此價七千百五十二萬三千マーク、乙へ四萬八百九十三噸此價三千六百八十九萬千マークなり又旅客に就ては

	千八百九十四年	千八百九十三年
東洋線		
東洋行きのもの	六千四百八十一人	四千五百八十一人
歐洲行きのもの	三千百七十八人	千八百五十九人
合計	九千六百五十九人	六千四百四十三人
濠洲線		
濠洲行きのもの	二千四十三人	二千百十七人
歐洲行きのもの	三千四百二人	三千二十七人
合計	五千四百四十五人	五千百四十一人

○ルイパスターの遺言

は非常に簡單にして即ち其言に余は余の妻へ法律の許す所の物

を遂すなり願はくば
しみをなく其母に對
表せんみとゝ云ふ

○南豫鐵道の延

山に達する南豫鐵道
於て臨時株主總會を
濱まで線路を延長す
長せんとの議もあり
の方利益多かるべき
たるなりと

○日本織物の商

しが今月に入りてよ
て當用口の注文及び
の賣行あり今各產地
●足利　は先月中一般
が農作收納中にて機出
品の望人ある爲め相
七八分方双子、黑地
類は變動なく綿太織
●桐生　は本年輸出品
相場はヂリヂリ安の
並物十匁上物五匁方
匁、綿尺三は十五匁
●廣帶類琥珀九寸筋
●八王子　は先月中は
より客筋少く直段も
織十五錢方の安直、
は多少下押しの姿
月中產地安直にて機
東京よりも上進の

○日本郵船會社

查に係る同會社六百
三二、三〇〇　內藤頭
二七、九六四　岩崎久彌
六、三八七
二、八七〇
一、六〇〇
一、五〇〇
一、五〇〇
一、五〇〇
一、五〇〇
一、一〇〇　今村壽之助

○商業會議所總

ては明後十四日午後
左の諸件を協議す
商業會議所條例施行規
商業會議所聯合會
中央商業會議所設置の件

○蜜柑は小粒

なりしを以て直段
結果として產地品
稍々上進の傾あり
千餘函を積み二三
上に現はるゝに至
云ふ昨今の市中相
紀州有田郡
大玉　三
中玉　三
小玉　三
次物

○歌舞伎座の

袴と据り道具替り